

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和2年度 要望・回答

江ノ島電鉄

番号	要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強 1 新線・線増計画			
(1)	最終電車運転時刻の繰下げ	<p>最終電車については、下り藤沢駅発が23時49分、上り藤沢駅着が23時38分着となっておりますが、これ以後も藤沢駅に発着するJR東海道本線、小田急江ノ島線の電車は多数あることから、最終電車の運転時刻を繰下げられるよう要望いたします。</p>	<p>最終電車から始発電車の間で実施する鉄道保守に関わる夜間作業の実施において、当社は急曲線が多く、民家が接近している特殊な沿線環境にあり、他社で使用しているような大型保守機器等での保守が難しく、作業員による手作業で実施しております。令和2年の夜間作業日数は270日となっているため、終電時間が遅くなり、作業時間が短くなると年間の保守計画への影響が大きいことや、昨今では働き方改革により作業員の確保も難しくなっております。</p> <p>一方、生活様式の変化により、深夜時間帯における利用者は減少しております。以上のような状況を踏まえ、現状では最終電車の運転時刻繰下げは難しいものとなっておりますが、利用実態に合ったダイヤをご提供できるよう努めてまいります。</p>
(2)	輸送力の増強	<p>平成24年4月より、来訪者の行動変化を促す等のピークカット施策の一環として、アフタヌーンパスを販売していただき、ソフト面での混雑緩和に努めていただいております。</p> <p>しかしながら、ゴールデンウィークやアジサイの開花時期といった観光シーズンになりますと、鎌倉駅や長谷駅、藤沢駅や江ノ島駅は、依然として車内のみならず、ホーム上や駅周辺にも利用者が滞留し、混雑することで、遅延等が生じており、定時性が確保できない状況となっております。このため、市民が利用する際も、乗車までに長い待ち時間が生じるなど、市民生活に大きく影響を及ぼしている状況です。</p> <p>また、自動車利用の観光客による交通渋滞などが問題となっておりますが、上記のように定時性の確保ができないため、公共交通機関への転換を促しがたい状況となっております。</p> <p>については、運行間隔の短縮等を含めたピーク時に対応できる輸送力の増強を要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅、長谷駅については、主要観光施設も多く、年間を通して土日には多くのお客様にご利用いただいていることから、当社線においての混雑区間となっております。そのため、駅出入口拡大や改札機増設等設備面での対策にとどまらず、駅係員の増員やガードマンの配置を行ない、駅改札口付近、ホーム等の乗客整理を行っておりますが、現状の施設では、4両編成、12分間隔の列車運行が最大限であり、駅の混雑及び、列車遅延の解消は困難な状況となっております。</p> <p>しかし、コロナウイルス感染拡大が収束した際には、以前のように混雑が発生することも予想されることから、車体更新時にフリースペースを設置した車両を増やすとともに、主要混雑駅の改修による駅滞留スペース確保の検討や遅延の原因調査も進めております。</p> <p>他方、ハード面以外では1日乗車券の発売に関し乗り降り自由であることから、ゴールデンウィーク等の繁忙期は混雑に拍車を掛けている可能性があるため、発売方の見直しを含めて検討を進めております。</p> <p>については、神奈川県、鎌倉市におかれましても、要望事項が早期に実現できるように、また混雑が予想される時期におかれましては、電車の混雑予測に関するPR・発信等、引き続きご協力を宜しくお願いいたします。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。</p> <p>また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備に当たっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。</p> <p>①転落防止 ホームドアや可動式ホーム柵は、ホームからの転落や触車防止に有効な施設であると認識しているため、乗車客数の多い藤沢駅、観光シーズンになると車内のみならずホーム上では身動きがとれないほど大変混雑する鎌倉駅、長谷駅への早期設置をお願いいたします。なお、設置まで長期間かかる駅につきましては、藤沢駅、湘南海岸公園駅へ設置していただいているCPラインの積極的な導入を要望いたします。 また、ホームと車両との段差及びすき間の解消につきましても、引き続き取り組みをお願いします。</p> <p>②多機能トイレ等 妊産婦・乳幼児連れの保護者が安心して利用できるよう、子どもサイズの便器、手洗い器、ベビーベッド、授乳室等の施設整備を要望いたします。また、藤沢駅について、障害のある方にも利用しやすい駅とするため、オストメイト対応設備は、温水シャワー水栓付き汚物流しのタイプに改良いただくとともに、車いすを使用するオストメイトにも利用可能な高さ調整機能の導入を要望いたします。</p>	<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化に考慮した駅施設の改善については、全駅においてスロープ・車椅子用昇降機・EV等により、平成28年10月にバリアフリー化が完了しております。</p> <p>転落事故を防止するうえで、ホームドアの有効性は高いものでありますが、現在、当社の車両はドア位置が車両毎に異なるため、設置は難しいと考えております。また、ホーム柵設置も難しいため、必要に応じてCPライン導入しており、現在藤沢駅、湘南海岸公園駅、鎌倉駅へ設置しておりますが、他駅への導入も検討してまいります。 また、令和元年度は藤沢駅ホーム改修によるすき間解消、鎌倉駅ホーム嵩上げによる、段差及びすき間解消を行っております。</p> <p>主要駅には多目的トイレを整備していますが、敷地の制約もあり全駅に設置出来ないのが現状です。 また、オストメイト対応設備については、平成30年10月に江ノ島駅へ温水シャワー付きを設置しております。なお、藤沢駅への温水シャワー付き設置ならびに両駅へのオストメイト高さ調整機能の導入については、更新時検討したいと考えますが、財源確保が課題と認識しています。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
		<p>③AED等 心肺停止状態に陥った急病人に対するAEDの使用は、その急病人の予後に大きく影響するため、現在有人駅(9駅)に設置いただいているAEDについて、他の6駅にも設置いただくよう要望いたします。</p>	<p>③AED等 AEDについては、現在すべての有人駅(9駅)に設置していますが、残りの6駅については、すべて無人駅となっております。今後も継続的に検討を重ねてまいります。行政におかれましても、無人駅周辺の商業施設など、代替施設等への設置について検討していただくようお願いいたします。</p>
		<p>④案内表示 音響音声案内装置等の設置、自動券売機の点字シールによる表示、聴覚障害者が視覚的に情報を得ることができる電光掲示板の設置等施設改善を要望いたします。 加えて、駅構内にAEDを設置して、急病人発生に備えていただいておりますが、どこにAEDが設置されているのかがわかりづらいという利用者からの声が届いております。AEDが設置してある場所にはステッカー等が貼られているのですが、設置場所まで近づかないと分からないのが現状です。トイレへの誘導標識のように、AEDの設置場所が遠くからすぐに分かるような標識の設置や、駅構内図へのAEDの設置場所の記載等を要望いたします。</p>	<p>④案内表示 平成31年1月より、全駅に運行情報システムを新設し、表示と音声の両面で案内を開始しております。同システム導入により、聴覚障害者の方へも情報の提供が可能となりました。また、藤沢駅および鶴沼駅ならびに江ノ島駅においては、触知案内図を設置しております。 駅構内AEDの標識については、既に駅構内案内図へ表示しておりますが、遠方からの視認性を確保したサイン類の整備等、検討してまいります。</p>
		<p>⑤人員対応 高齢者、障害者等が利用しやすいよう、ラッシュ時などにおいては、改札・精算窓口の駅職員を増員するなど必要な駅職員を配置するとともに、利用者への声かけなどの心のバリアフリーの啓発を引き続き要望いたします。</p>	<p>⑤人員対応 心のバリアフリー啓発については、「声かけ・サポート運動」強化キャンペーン等を実施し、交通弱者の方々が鉄道係員のみならず、一般の方々より支援いただけるように、ポスター掲出や駅・車内での放送等、積極的な啓発活動を推進しております。今後についても適時啓発活動を継続してまいります。 駅職員の増員については、全社的な要員配置の観点から直ぐに対応する事が困難であることから、現状の駅職員が臨機に対応してまいります。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
(2)	鎌倉駅構内の整備	<p>鎌倉駅の混雑対策については、これまでご要望させていただいておりましたが、ゴールデンウィークやアジサイの開花時期といった観光シーズンになりますと、車内のみならずホーム上では身動きがとれないほど大変混雑し、容易に乗降等ができない状況です。</p> <p>また、近年、インバウンド旅行者は増加傾向にあり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定され、セーリング競技の会場が江ノ島に選定されていることを踏まえると、ホーム等の駅構内における利用者へのより一層の安全性確保に取り組んでいく必要があります。</p> <p>については、配置人員の増強などこれまで取り組まれているソフト対策に加え、ハード対策として、ホームの拡張等を含めた駅構内の整備を要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅混雑対策および安全対策については継続的に検討しておりますが、JR東日本との接続駅であることから、抜本的な改善には以前より鎌倉市で進めています鎌倉駅西口再開発計画を積極的に推進していただき、当社としても参画してまいります。</p>
(3)	長谷駅の移動経路について	<p>高齢者、障害者をはじめとしたすべての利用者にとって、円滑な移動経路の確保が可能となるよう整備を要望いたします。長谷駅の江ノ島駅方面行ホームのスロープとなっている出入口については、常時開放されておらず、高齢者や子ども連れの方などスロープを必要とする方には不便となっています。開放する時間を増やすなどの対応とともに、今後、江ノ島駅方面行ホームの改修等を行う際には常時開放について検討することを要望いたします。</p>	<p>江ノ島駅方面行ホーム出入口は、長谷駅周辺の観光スポットが駅北側に集中していることから、出場した利用者の多くが交通踏切を渡ることで、交通事故リスクを低減させる目的から閉鎖しておりますが、スロープを必要とされるお客様へは駅係員が対応しております。将来的な駅改修の際は、利用状況を精査した上で、検討させていただきます。</p>
(4)	腰越駅及び七里ヶ浜駅の車いす用のリフトの運用時間について	<p>腰越駅及び七里ヶ浜駅の車いす用のリフトの運用時間については、駅員の配置時間である午前9時から午後6時に限られており、通勤・通学の方には不便であるとの声が届いています。運用時間の拡大など現状の改善を要望いたします。</p>	<p>駅員の配置時間拡大については、働き方改革の推進により業務時間外の要員確保が難しい状況ですが、事前連絡や駅インターホンでの連絡により駅係員が可能な範囲で対応いたします。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
Ⅲ その他			
(1)	自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進	<p>自転車等駐車場の設置については、駅周辺については用地の確保を含め、公共空間を活用した路上駐輪施設の設置を進めるなど各自治体において鋭意努力しておりますが、駅周辺には適地が少なく苦慮しております。</p> <p>については、自転車やバイクの利用者の大部分が通勤・通学者であることから、用地の提供及び確保、施設の設置や維持への助成等、放置自転車対策の推進について、積極的に取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>なお、藤沢市では、藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業と連携した駐輪場施設整備の検討を行っておりますので、貴社におかれましても、引き続き自転車等駐車場の管理運営・用地の提供等の協力について、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>自転車等駐車場用地の提供については、藤沢駅～石上駅・稲村ヶ崎駅・極楽寺駅にて行っております。また、稲村ヶ崎駅においては鎌倉市と連携して駐輪場拡張について協議を行っております。今後も可能な限り協力できるよう検討をまいります。</p>